

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)公開番号
特開2024-8470
(P2024-8470A)

(43)公開日 令和6年1月19日(2024.1.19)

(51)国際特許分類	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 H 15/00 (2006.01)	A 6 1 H 15/00 3 5 0 E	4 C 1 0 0

審査請求 未請求 請求項の数 13 O L (全20頁)

(21)出願番号	特願2022-110373(P2022-110373)	(71)出願人	000136491
(22)出願日	令和4年7月8日(2022.7.8)		株式会社フジ医療器
			大阪府大阪市中央区農人橋1丁目1番2 2号
		(74)代理人	110001933
			弁理士法人 佐野特許事務所
		(72)発明者	古谷 毅
			大阪府大阪市中央区農人橋1丁目1番2 2号 株式会社フジ医療器内
		Fターム(参考)	4C100 AD11 CA06 DA05 DA06

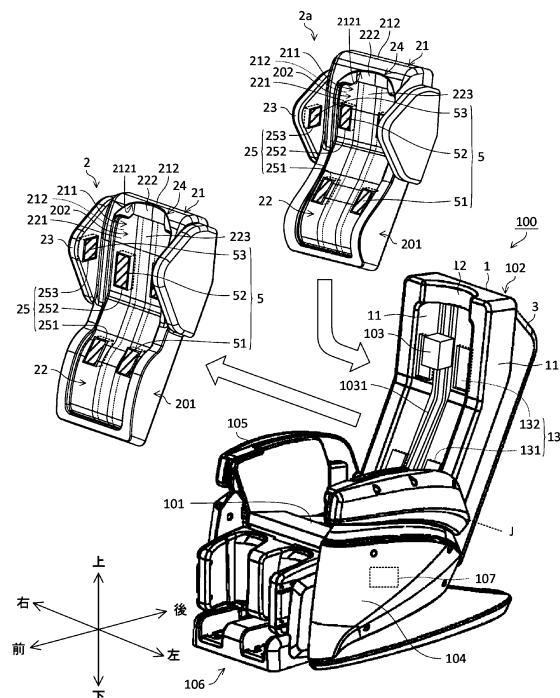
(54)【発明の名称】 椅子式マッサージ機、及びその発注システム

(57) 【要約】

【課題】背凭れ支持部を取り外して交換することができ、被施療者毎に体格に適した背凭れ部を提供する。

【解決手段】椅子式マッサージ機は、座部と、背凭れ部と、を有する。座部は、被施療者の臀部を支持する。背凭れ部は、被施療者の胴部を支持する。背凭れ部は、ベース部と、背凭れ支持部と、を有する。ベース部は、座部の後端部に接続されて、被施療者の臀部から頭部に向かう長手方向に延びる。背凭れ支持部は、ベース部の前面に対して連結部を介して取り付けられて長手方向に延び、被施療者の胴部の背面と接する。背凭れ支持部は、ベース部に対して装脱着可能である。

【選択図】 図3



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被施療者の臀部を支持する座部と、
前記被施療者の胴部を支持する背凭れ部と、
を有し、
前記背凭れ部は、
前記座部の後端部に接続されて、前記被施療者の臀部から頭部に向かう長手方向に延びるベース部と、
前記ベース部の前面に対して連結部を介して取り付けられて前記長手方向に延び、前記被施療者の胴部の背面と接する背凭れ支持部と、
を有し、
前記背凭れ支持部は、前記ベース部に対して装脱着可能である、椅子式マッサージ機。

10

【請求項 2】

前記連結部は、
前記背凭れ支持部を前記ベース部の縁部に係着させる線ファスナー部と、
前記背凭れ支持部を前記ベース部に係着させる面ファスナー部と、
前記ベース部及び前記背凭れ支持部を機械的に係止させる係止部と、
前記ベース部及び前記背凭れ支持部を螺合により連結する螺合部と、
のうちの少なくともいずれかにより形成される、請求項 1 に記載の椅子式マッサージ機。

20

【請求項 3】

前記背凭れ支持部に配置されて前記被施療者を施療する施療子と、
前記施療子を駆動する駆動部と、
をさらに備え、
前記背凭れ支持部は、
前記被施療者の腰部を支持する下側支持部と、
前記被施療者の胴部のうちの腰部よりも上側を支持する上側支持部と、
前記上側支持部の左右方向両端部にそれぞれ配置されて前方に突出するサイド支持部と、
を有し、

30

前記施療子は、

前記下側支持部、前記上側支持部、及び、前記サイド支持部のうちの少なくともいずれかに配置され、
前記ベース部に対して前記背凭れ支持部が固定されることにより、前記駆動部と接続される、請求項 1 に記載の椅子式マッサージ機。

【請求項 4】

前記施療子が配置された前記下側支持部、前記上側支持部、及び、前記サイド支持部のうちの少なくともいずれかは、前記施療子の少なくとも一部を収容する孔部を有する、請求項 3 に記載の椅子式マッサージ機。

【請求項 5】

前記施療子は、
前記上側支持部に配置される上側施療子と、
前記下側支持部に配置される下側施療子と、
の少なくともどちらかを含み、
前記孔部は、前記背凭れ支持部を前後方向に貫通し、
前記ベース部は、前記孔部に収容された前記上側施療子及び前記下側施療子の少なくともどちらかの後端部を収容するベース凹部を有する、請求項 4 に記載の椅子式マッサージ機。

40

【請求項 6】

前記座部の左右方向における両側に配置され、前記被施療者の前腕部を支持する一对の肘掛け部をさらに備え、

50

前記背凭れ部は、前記座部の後部において左右方向に延びる回転軸を中心にして回動可能であって、

前方に傾倒する前記ベース部の少なくとも一部は、左右方向における一対の前記肘掛け部の間に配置される、請求項 1 又は請求項 2 に記載の椅子式マッサージ機。

【請求項 7】

前記背凭れ支持部に代えて副背凭れ支持部を前記連結部により前記ベース部に取り付け可能であり、

前記副背凭れ支持部は、前記背凭れ支持部に対して、前方から見た外観、柔らかさ、前記長手方向における長さ、及び材料のうちの少なくともいずれかが異なる、請求項 1 又は請求項 2 に記載の椅子式マッサージ機。

10

【請求項 8】

被施療者の臀部を支持する座部と、前記被施療者の胸部を支持する背凭れ部と、を備え、前記背凭れ部は、前記座部の後端部に接続されて前記被施療者の臀部から頭部に向かう長手方向に延びるベース部と、前記ベース部の前面に連結部を介して取り付けられて前記長手方向に延びて前記被施療者の胸部の背面と接する背凭れ支持部と、を有し、前記背凭れ支持部は、前記ベース部に対して装脱着可能である椅子式マッサージ機の発注システムであって、

顧客により入力される発注情報を通信部により取得する取得部を備え、

前記発注情報は、既製品を指定する指定情報と、前記被施療者の体格を含む生体情報との少なくともどちらかを含み、

20

前記発注情報に基づいて前記背凭れ支持部の仕様を決定して前記椅子式マッサージ機が製造される、椅子式マッサージ機の発注システム。

【請求項 9】

前記発注情報により、前記背凭れ支持部のみを発注可能にした、請求項 8 に記載の椅子式マッサージ機の発注システム。

【請求項 10】

記憶部をさらに備え、

前記取得部は、前記顧客の第 1 識別情報と、前記椅子式マッサージ機の第 2 識別情報と、をさらに取得し、

前記記憶部は、前記第 1 識別情報及び前記第 2 識別情報に紐付けて、前記発注情報を記憶する、請求項 8 又は請求項 9 に記載の椅子式マッサージ機の発注システム。

30

【請求項 11】

前記背凭れ支持部は、

前記被施療者の胸部のうちの腰部よりも上方を支持する上側支持部と、

前記上側支持部の左右方向両端部にそれぞれ配置されて前方に突出する一対のサイド支持部と、

を有し、

前記背凭れ支持部の仕様は、

各々の前記上側支持部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅と、

40

前記長手方向において前記上側支持部に対して一対の前記サイド支持部が配置される相対位置と、

各々の前記サイド支持部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅と、

一対の前記サイド支持部の左右方向における間隔と、

の少なくともいずれかを含む、請求項 8 又は請求項 9 に記載の椅子式マッサージ機の発注システム。

【請求項 12】

前記背凭れ支持部は、前記被施療者の腰部を支持する下側支持部を有し、

前記背凭れ支持部の仕様は、各々の前記下側支持部の前後方向、左右方向、及び前記長

50

手方向の少なくともいずれかの幅を含む、請求項 8 又は請求項 9 に記載の椅子式マッサージ機の発注システム。

【請求項 13】

前記背凭れ支持部は、前記被施療者の頭部又は首部を支持する頭首受け部を含み、前記背凭れ支持部の仕様は、

各々の前記頭首受け部の前記長手方向における位置と、

各々の前記頭首受け部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅と、

各々の前記頭首受け部の柔らかさ及び材料の少なくともどちらかと、

の少なくともいずれかを含む、請求項 8 又は請求項 9 に記載の椅子式マッサージ機の発注システム。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、椅子式マッサージ機、及びその発注システムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来から、被施療者の嗜好に応えるべく、様々な施療を提供するマッサージ機が開発されている。たとえば、特許文献 1 では、被施療者が所望するマッサージプログラムを選択することができる。

20

【先行技術文献】

【特許文献】

【0003】

【特許文献 1】特開 2014-204930 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

しかしながら、被施療者の嗜好は多種多様であり、多様なマッサージプログラムの提供のみでは被施療者の要望に対して十分に対応することは難しい。また、被施療者の体格は様々であり、特に背凭れ部の仕様が被施療者の体格にあまり適合しない場合もある。特に、1 台のマッサージ機を複数の被施療者で共用する場合、このような問題が生じ易い。そのため、マッサージプログラムの多様性のみでは、体格の異なる被施療者に適した施療を施すことは難しい。十分な施療を施すためには、各被施療者の体格に適したマッサージ機が必要となる。この場合、仕様の異なる多種のマッサージ機を製造する必要があるし、たとえば各家庭で複数台のマッサージ機を購入する必要がある。

30

【0005】

上記の状況を鑑みて、本発明は、背凭れ支持部を取り外して交換することができ、被施療者毎に体格に適した背凭れ部を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記目的を達成するために本発明の一の態様による椅子式マッサージ機は、被施療者の臀部を支持する座部と、前記被施療者の胸部を支持する背凭れ部と、を有し、前記背凭れ部は、前記座部の後端部に接続されて、前記被施療者の臀部から頭部に向かう長手方向に延びるベース部と、前記ベース部の前面に対して連結部を介して取り付けられて前記長手方向に延び、前記被施療者の胸部の背面と接する背凭れ支持部と、を有し、前記背凭れ支持部は、前記ベース部に対して装脱着可能である構成とされる。

40

【0007】

また、上記目的を達成するために本発明の一の態様による椅子式マッサージ機の発注システムは、被施療者の臀部を支持する座部と、前記被施療者の胸部を支持する背凭れ部と、を備え、前記背凭れ部は、前記座部の後端部に接続されて前記被施療者の臀部から頭部

50

に向かう長手方向に延びるベース部と、前記ベース部の前面に連結部を介して取り付けられて前記長手方向に延びて前記被施療者の胸部の背面と接する背凭れ支持部と、を有し、前記背凭れ支持部は、前記ベース部に対して装脱着可能である椅子式マッサージ機の発注システムであって、顧客により入力される発注情報を通信部により取得する取得部を備え、前記発注情報は、既製品を指定する指定情報と、前記被施療者の体格を含む生体情報との少なくともどちらかを含み、前記発注情報に基づいて前記背凭れ支持部の仕様を決定して前記椅子式マッサージ機が製造される構成とされる。

【0008】

本発明の更なる特徴や利点は、以下に示す実施形態によって一層明らかにされる。

【発明の効果】

10

【0009】

本発明によると、背凭れ支持部を取り外して交換することができ、被施療者毎に体格に適した背凭れ部を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】椅子式マッサージ機の構成例を示す概略的な斜視図

【図2】外装を外した椅子式マッサージ機の概略的な斜視図

【図3】背凭れ支持部を装脱着して交換できる椅子式マッサージ機の斜視図

【図4】背凭れ部を前側に傾倒させた椅子式マッサージ機の斜視図

【図5A】第1例の連結部を有した椅子式マッサージ機を背面側から見た斜視図

20

【図5B】第2例の連結部を有した椅子式マッサージ機を背面側から見た斜視図

【図5C】第3例の連結部を有した椅子式マッサージ機を背面側から見た斜視図

【図5D】第4例の連結部を有した椅子式マッサージ機を背面側から見た斜視図

【図6】椅子式マッサージ機の発注システムの構成例を示す概略図

【発明を実施するための形態】

【0011】

以下に図面を参照して本発明の実施形態を説明する。

【0012】

図1は、椅子式マッサージ機100の構成例を示す概略的な斜視図である。図2は、外装を外した椅子式マッサージ機100の概略的な斜視図である。なお、椅子式マッサージ機100に係る図2～後述の図5Dでは、椅子式マッサージ機100の表面に配置される布地などのカバー及び緩衝材などの図示を省略している。また、以下では、椅子式マッサージ機100を「マッサージ機100」と称する。

30

【0013】

以下の説明において、後述する背凭れ部102が倒れていない状態のマッサージ機100に着座した被施療者Uから見て前側（正面側）を「前側」といい、背凭れ部102が倒れていない状態のマッサージ機100に着座した被施療者Uから見て後側（背面側）を「後側」という。また、背凭れ部102が倒れていない状態のマッサージ機100に着座した被施療者Uから見て上側（頭側）を「上側」といい、背凭れ部102が倒れていない状態のマッサージ機100に着座した被施療者Uから見て下側（脚側）を「下側」という。また、背凭れ部102が倒れていない状態のマッサージ機100に着座した被施療者Uから見て右側を「右側」といい、背凭れ部102が倒れていない状態のマッサージ機100に着座した被施療者Uから見て左側を「左側」という。

40

【0014】

<マッサージ機100>

マッサージ機100は、座部101と、背凭れ部102と、施療ユニット103と、左右一対の立設部104と、左右一対の肘掛け部105と、OTTOMAN106と、を備える。

【0015】

座部101は、被施療者Uの臀部及び太腿部を支持する。

50

【0016】

背凭れ部102は、座部101の後部に支持される。背凭れ部102は、被施療者Uの頭、胸部（たとえば肩部、腰部、及び背中）などを支持する。背凭れ部102は、座部101の後部において、左右方向に沿って延びる回転軸Jを中心にして回転可能である。背凭れ部102は、回転軸Jを中心とする回転により、後側に倒したり前側に起き上がったことが可能である。背凭れ部102は、図1に示すように、枕部1021を有する。枕部1021は、背凭れ部102の上端部に配置され、被施療者Uの頭部、首部などを支持する。

【0017】

施療ユニット103は、被施療者Uの背中を施療可能である。施療ユニット103は、背凭れ部102に配置されて、背凭れ部102に沿って左右方向と垂直な方向に移動可能である。たとえば、施療ユニット103は、背凭れ部102に設けられる左右一対のガイドレール1031によって案内されて、背凭れ部102の長手方向に昇降できる。長手方向は、たとえば背凭れ部102に凭れ掛かる被施療者Uの臀部（又は腰部）から首部に向かう方向である。

10

【0018】

立設部104は、座部101の左右方向の両側に立設して設けられ、肘掛け部105を支持する。

【0019】

肘掛け部105は、立設部104の上部に配置される。一対の肘掛け部105は、座部101の左右方向における両側に配置され、被施療者Uの前腕部及び手を支持する。左右一対の肘掛け部105は、互いに左右対称の形状である。

20

【0020】

オットマン106は、座部101の前端部に回転可能に支持され、被施療者Uの下腿部及び足部を収容する。オットマン106は、座部101の前端部の下側において左右方向に沿って延びる回転軸（図示省略）を中心にして回転可能である。

【0021】

また、マッサージ機100は、操作部及びスタンド（ともに図示省略）をさらに備える。操作部は、被施療者Uが施療パターンの選択や施療の強弱調節などを行うための入力装置である。操作部はコード線を介して座部101の下側に設けられる制御部（図示省略）に接続される。当該制御部は、操作部から出力される信号に基づいてマッサージ機100の各部を制御する。スタンドは、座部101の左側に設けられるひじ掛け部105に固定されている。操作部はスタンドに対して装脱着可能である。

30

【0022】

また、マッサージ機100は、駆動部107をさらに備える。駆動部107は、背凭れ部102に配置された後述する施療子5を駆動する。たとえば、駆動部107は、左右方向における立設部104間において座部101よりも下側に配置される。

【0023】

<背凭れ部102>

次に、背凭れ部102の詳細な構成を説明する。背凭れ部102は、ベース部1と、背凭れ支持部2と、バックカバー部3と、をさらに有する。ベース部1は、座部101の後端部に対して回転可能に接続されて、被施療者Uの臀部から頭部に向かう長手方向に延びる。背凭れ支持部2は、長手方向に延び、被施療者Uの胸部の背面と接する。背凭れ支持部2は、ベース部1の前面に嵌め込み可能である。たとえば、背凭れ支持部2の下端部が、ベース部1の下端部に配置される凹部（不図示）に嵌め込まれる。この嵌め込み構造により、背凭れ支持部2は、ベース部1に取り付けられる。また、背凭れ支持部2は、ベース部1の前面に対して、後述する連結部4を介して連結される。バックカバー部3は、ベース部1の背面を覆う。

40

【0024】

背凭れ支持部2は、ベース部1に対して装脱着可能であり、詳細には背凭れ部102の

50

図示しない外装及び緩衝材を介して被施療者Uの胸部の背面と接する。図3は、背凭れ支持部2を装脱着して交換する椅子式マッサージ機100の斜視図である。

【0025】

図3に示すように、背凭れ支持部2は、手動で、他の背凭れ支持部2と交換可能である。なお、以下では、交換される他の背凭れ支持部2を「副背凭れ支持部2a」と呼ぶことがある。図3に示すように、被施療者Uのたとえば体格及び好みなどに応じて背凭れ支持部2を手動で交換することで、マッサージ機100の購入後であっても、背凭れ支持部2を被施療者Uの好みにフィットさせることができる。従って、マッサージ機100の背凭れ部102に凭れる被施療者Uの着座時及び施療時の心地よさを向上できる。よって、被施療者U毎に体格に適した背凭れ部102を提供することができる。

10

【0026】

また、背凭れ支持部2は手動で交換可能であるので、たとえば、被施療者Uは、自身の体型に適した背凭れ支持部2に容易に交換できる。さらに、たとえば、家庭などで複数の被施療者Uが順番にマッサージ機100を使用する場合であっても、各々の被施療者Uは、その都度、背凭れ支持部2を交換できる。よって、各々の被施療者Uに適した背凭れ支持部2を用いて、マッサージ機100の施療を受けることができる。

【0027】

また、背凭れ支持部2を外した状態において、背凭れ部102（特にベース部1）は、起立した状態よりも前側に傾倒できる。図4は、背凭れ部102を前側に傾倒させた椅子式マッサージ機100の斜視図である。

20

【0028】

図4に示すように、前方に傾倒するベース部1の少なくとも一部は、左右方向における一对の肘掛け部105の間に配置され、つまり、座部101及び一对の肘掛け部105で囲まれた空間に収容できる。たとえば、本実施形態では、ベース部1の少なくとも前側の部分を収容できる。こうすれば、背凭れ支持部2を外した状態でベース部1を前方に回動させる。これにより、座部101を取り外すことなく、座部101に対して背凭れ部102を折り畳んで、一对の肘掛け部105の間に収容できる。従って、マッサージ機100の上下方向におけるサイズを小さくして、マッサージ機100をコンパクトにできる。この効果は、背凭れ支持部2とは別にマッサージ機100を梱包する際において、特に有用である。なお、図4では、バックカバー部3が装着されている。但し、この例示に限定されず、バックカバー部3を外した状態で、背凭れ部102を前側に傾倒させてもよい。こうすれば、上下方向におけるサイズをさらに小さくできるので、マッサージ機100をさらにコンパクトにできる。

30

【0029】

次に、ベース部1は、金属製の部材、又は、金属製のフレームに樹脂が一体成型された部材である。ベース部1は、左右一对の縦フレーム部11と、横フレーム部12と、を有する（図3参照）。左右一对の縦フレーム部11は、それぞれ左右方向に広がる板状であって長手方向に延び、左右方向に離れて並ぶ。左右一对の縦フレーム部11の下端部は、それぞれ座部101の後端部に対して回転軸Jを中心にして回転可能に接続される。左右方向において、一对の縦フレーム部11間には、長手方向に移動可能な施療ユニット103が配置される。施療ユニット103の前端部は、一对の縦フレーム部11、後述する一对の縦支持部211及び一对の縦パッド部221よりも前側に突出する。これにより、施療ユニット103は、背凭れ支持部2に接する被施療者Uの背中を施療できる。また、左右一对の縦フレーム部11の下端部は、座部101の後端部に接続され、回転軸J回りに回転可能である。横フレーム部12は、左右方向に延び、左右一对の縦フレーム部11の上端部間を接続する。

40

【0030】

次に、背凭れ支持部2（及び副背凭れ支持部2a）の構成を説明する。図3に示すように、背凭れ支持部2は、支持部21と、パッド部22と、左右一对のサイド支持部23と、頭首受け部24と、を有する。

50

【0031】

支持部21は、ベース部1の前面に配置される。支持部21は、左右一対の縦支持部211と、横支持部212と、を有する。縦支持部211及び横支持部212は、たとえば樹脂製である。左右一対の縦支持部211は、それぞれ左右方向に広がる板状であって長手方向に延び、左右方向に離れて並ぶ。左側の縦支持部211は、ベース部1の左側の縦フレーム部11の前面に配置される。右側の縦支持部211は、右側の縦フレーム部11の前面に配置される。横支持部212は、左右方向に延び、左右一対の縦支持部211の上端部間を接続する。横支持部212は、ベース部1の横フレーム部12の前面に配置される。

【0032】

パッド部22は、たとえば、発泡ウレタンなどの支持部21よりも軟質の材料で形成され、支持部21の前面に配置される。パッド部22は、左右一対の縦パッド部221と、横パッド部222と、被覆部223と、を有する。左右一対の縦パッド部221は、それぞれ左右方向に広がる板状であって長手方向に延び、左右方向に離れて並ぶ。左側の縦パッド部221は、左側の縦支持部211の前面に配置される。右側の縦パッド部221は、右側の縦支持部211の前面に配置される。横パッド部222は、左右方向に延び、横支持部212の前面に配置される。また、左右方向において、一対の縦パッド部221間には、被覆部223が配置される。被覆部223は、たとえば一対の縦パッド部221間に配置される伸縮性を有する布地であり、施療ユニット103及びガイドレール1031よりも前方に配置され、これらを覆う。被覆部213は、施療ユニット103の施療子の形状及び動作に合わせて伸縮する。該施療子は、被覆部213などを介して施療部位に接する。従って、被覆部213は、施療ユニット103の施療を十分に被施療者Uの施療部位に伝達することができる。但し、この例示に限定されず、被覆部223は、一対の縦フレーム部11間に配置されてもよいし、或いは省略されてもよい。

【0033】

また、支持部21は、下側支持部201と、上側支持部202と、を有する。言い換えると、背凭れ支持部2の支持部21は、下側支持部201と、上側支持部202と、を有する。下側支持部201は、被施療者Uの腰部などを支持する。上側支持部202は、被施療者の胸部のうちの腰部よりも上側を支持する。詳細には、下側支持部201は、支持部21の長手方向における下側の部分であり、縦支持部211の下側の部分と、縦パッド部221の下側の部分と、を含む。上側支持部202は、支持部21の長手方向における上側の部分であり、縦支持部211の上側の部分と、縦パッド部221の上側の部分と、を含む。下側支持部201及び上側支持部202はそれぞれ、左右一対である。背凭れ部102が起立した状態において、下側支持部201は、上側支持部202よりも前側に突出する。

【0034】

また、左右一対のサイド支持部23は、上側支持部202の左右方向両端部にそれぞれ配置されて、前方に突出する。前述の如く、背凭れ支持部2は、左右一対のサイド支持部23をさらに有する。各サイド支持部23は、左右方向に並ぶ。各サイド支持部23は、被施療者Uの肩部及び上腕部よりも左右方向における外側にそれぞれ配置されて、被施療者Uと左右方向に対向する。たとえば、背凭れ部102が起立した状態において、左側のサイド支持部23は、左側の上側支持部202の左端部に配置され、左側の上側支持部202よりも前側に突出し、背凭れ支持部2の長手方向に広がる。右側のサイド支持部23は、右側の上側支持部202の右端部に配置され、右側の上側支持部202よりも前側に突出し、背凭れ支持部2の長手方向に広がる。左側のサイド支持部23は、被施療者Uよりも左側に配置される。右側のサイド支持部23は、被施療者Uよりも右側に配置される。

【0035】

このほか、頭首受け部24は、被施療者Uの頭部又は首部を支持する。前述の如く、背凭れ支持部2は、頭首受け部24を含む。詳細には、頭首受け部24は、横支持部212

10

20

30

40

50

の下端部に配置された凹部 2 1 2 1 と、横パッド部 2 2 2 と、を含む。凹部 2 1 2 1 は、横支持部 2 1 2 の下端部において、該下端部から上方に凹むとともに、前端部から後方に凹む。また、頭首受け部 2 4 の前方には、枕部 1 0 2 1（図 1 参照）が配置される。たとえば、枕部 1 0 2 1 の上端部は、頭首受け部 2 4 の上端部に装脱着可能に取り付けられる。被施療者 U の頭部が枕部 1 0 2 1 に凭れる際、枕部 1 0 2 1 の後端部は、後方に沈み込んで、頭首受け部 2 4 内に配置される。但し、本実施形態の例示は、頭首受け部 2 4 が省略される構成を排除しない。

【0036】

次に、図 5 A～図 5 D はマッサージ機 1 0 0 の背面側から見た斜視図を示している。連結部 4 は、背凭れ支持部 2 をベース部 1 に取り付ける機構である。望ましくは、連結部 4 は、簡易な機構とされる。図 5 A は、第 1 例の連結部 4 を有した椅子式マッサージ機 1 0 0 を背面側から見た斜視図である。図 5 B は、第 2 例の連結部 4 を有した椅子式マッサージ機 1 0 0 を背面側から見た斜視図である。図 5 C は、第 3 例の連結部 4 を有した椅子式マッサージ機 1 0 0 を背面側から見た斜視図である。図 5 D は、第 4 例の連結部 4 を有した椅子式マッサージ機 1 0 0 を背面側から見た斜視図である。

【0037】

たとえば、図 5 A において、連結部 4 は、背凭れ支持部 2 をベース部 1 の縁部に係着される線ファスナー部 4 1 である。線ファスナー部 4 1 は、背凭れ部 1 0 2 の左側面、右側面、及び上面の少なくともいずれかに配置される。

【0038】

線ファスナー部 4 1 は、第 1 エLEMENT 部 4 1 1 と、第 2 エLEMENT 部 4 1 2 と、スライダー 4 1 3 と、を有する。第 1 エLEMENT 部 4 1 1 及び第 2 エLEMENT 部 4 1 2 はそれぞれ、直線状に並ぶ複数の歯状のエLEMENT を有する。スライダー 4 1 3 は、第 1 エLEMENT 部 4 1 1 の隣り合うエLEMENT 間に第 2 エLEMENT 部 4 1 2 のエLEMENT を噛み合わせるための部材である。たとえば、第 1 エLEMENT 部 4 1 1 は、ベース部 1 の左側面及び右側面に配置され、さらに上面部に配置されてもよい。第 2 エLEMENT 部 4 1 2 は、背凭れ支持部 2 の左側面及び右側面に配置され、さらに上面部に配置されてもよい。

【0039】

たとえば、ベース部 1 に背凭れ支持部 2 を取り付ける際、スライダー 4 1 3 内で第 1 エLEMENT 部 4 1 1 及び第 2 エLEMENT 部 4 1 2 を対向させた状態で、エLEMENT が並ぶ所定方向にスライダー 4 1 3 を移動させる。この動作により、第 1 エLEMENT 部 4 1 1 及び第 2 エLEMENT 部 4 1 2 は互いに噛み合い、線ファスナー部 4 1 において背凭れ支持部 2 がベース部 1 の縁部に係着する。従って、背凭れ支持部 2 がベース部 1 に手動で固定される。

【0040】

一方、ベース部 1 から背凭れ支持部 2 を取り外す際、所定方向とは反対方向にスライダー 4 1 3 を移動させる。これにより、第 1 エLEMENT 部 4 1 1 及び第 2 エLEMENT 部 4 1 2 は互いに離れ、線ファスナー部 4 1 の係着が解除される。この動作により、ベース部 1 の縁部に対する線ファスナー部 4 1 の係着が解除される。従って、背凭れ支持部 2 をベース部 1 から離して手動で取り外すことができる。

【0041】

また、図 5 B において、連結部 4 は、背凭れ支持部 2 をベース部 1 に係着させる面ファスナー部 4 2 である。面ファスナー部 4 2 は、背凭れ部 1 0 2 の左側面及び右側面に複数配置され、さらに、背凭れ部 1 0 2 の上面に複数配置されてもよい。

【0042】

面ファスナー部 4 2 は、面ループ部 4 2 1 と、面フック部 4 2 2 と、を有する。面ループ部 4 2 1 は、表面に複数のループが配置された帯状体であり、ベース部 1 及び背凭れ支持部 2 の一方に配置される。面フック部 4 2 2 は、表面に複数のフックが配置された帯状体である。たとえば、面フック部 4 2 2 の一端は、ベース部 1 及び背凭れ支持部 2 の他方に固定される。

【0043】

たとえば、ベース部1に背凭れ支持部2を取り付ける際、ベース部1の前面に背凭れ支持部の背面を押し当てた状態で、各面ファスナー部42において、面ループ部421及び面フック部422の他端を重ねて張り合わせる。これにより、背凭れ支持部2がベース部1に手動で固定される。

【0044】

一方、ベース部1から背凭れ支持部2を取り外す際、各面ファスナー部42において、面フック部422他端を面ループ部421から剥がし、背凭れ支持部2をベース部1から離す。これにより、背凭れ支持部2をベース部1から手動で取り外すことができる。

【0045】

また、図5Cにおいて、連結部4は、ベース部1及び背凭れ支持部2を機械的に係止させる係止部43である。係止部43は、背凭れ部102の左側面、右側面、及び上面の少なくともいずれかに配置される。係止部43は、被係止部と係止可能なフック部（ともに図示省略）と、取っ手431と、を有する。フック部は、ベース部1及び背凭れ支持部2の一方に配置される。被係止部は、ベース部1及び背凭れ支持部2の他方に配置される。取っ手431は、フック部及び被係止部間の係止を解除するための部材であり、ベース部1及び背凭れ支持部2のどちらかに配置される。取っ手431の操作により、両者の係止は解除可能である。

【0046】

たとえば、ベース部1に背凭れ支持部2を取り付ける際、ベース部1の前面に背凭れ支持部の背面を対向させた状態で、ベース部1に向かって背凭れ支持部2を押し込む。この動作によって、係止部43においてフック部が被係止部に係止し、背凭れ支持部2がベース部1に手動で固定される。

【0047】

一方、ベース部1から背凭れ支持部2を取り外す際、たとえば取っ手431を握って回転させることにより、フック部がこの操作に連動して被係止部から外れ、係止部43において両者の係合が解除される。これにより、たとえば、ワンタッチ程度の簡単な動作で、背凭れ支持部2をベース部1から離して手動で取り外すことができる。

【0048】

また、図5Dにおいて、連結部4は、ベース部1及び背凭れ支持部2を螺合により連結する螺合部44である。螺合部44は、背凭れ部102の左側面及び右側面に配置され、さらに上面に配置されてもよい。螺合部44は、雌螺子部441と、開口（図示省略）と、雄螺子部442と、を有する。雌螺子部441は、ベース部1に配置される。開口は、背凭れ支持部2に配置される。雄螺子部442は、たとえば、蝶螺子、ボルトなどであり、開口を通じて雌螺子部441に螺合される。

【0049】

たとえば、ベース部1に背凭れ支持部2を取り付ける際、ベース部1の前面に背凭れ支持部2の背面を対向させた状態で、雄螺子部442を雌螺子部441に螺合する。この動作によって、背凭れ支持部2がベース部1に手動で固定される。

【0050】

一方、ベース部1から背凭れ支持部2を取り外す際、螺合部44の螺合を解除する。この動作によって、背凭れ支持部2をベース部1から離して手動で取り外すことができる。

【0051】

なお、図5A～図5Dでは、背凭れ支持部2は、1種類の連結部4でベース部1に固定される。但し、この例示に限定されず、図5A～図5Dの連結部4は、組み合わされてもよい。つまり、連結部4は、線ファスナー部41と、面ファスナー部42と、係止部43と、螺合部44と、のうちの少なくともいずれかにより形成される。こうすれば、被施療者Uは、ベース部1に対して背凭れ支持部2を容易に装脱着できる。

【0052】

たとえば、図5Aのように線ファスナー部41を用いる場合、スライダー413の移動

10

20

30

40

50

により背凭れ支持部 2 側の第 1 エレメント部 4 1 1 とベース部 1 側の第 2 エレメント部 4 1 2 とを噛み合わせる。これにより、ベース部 1 の前面に置いた背凭れ支持部 2 をベース部 1 に取り付けて固定できる。また、噛み合わせを解除することで、ベース部 1 及び背凭れ支持部 2 の固定を解除できる。

【0053】

また、図 5 B のように面ファスナー部 4 2 を用いる場合、面ループ部 4 2 1 及び面フック部 4 2 2 の張り合わせにより、背凭れ支持部 2 をベース部 1 に固定できる。また、両者を剥がして面ファスナー部 4 2 の係着を解除することで、ベース部 1 及び背凭れ支持部 2 の固定を解除できる。

【0054】

また、図 5 C のように係止部 4 3 を用いる場合、ベース部 1 に対する背凭れ支持部 2 の押し込みにより、フック部が被係止部に係止されることで、背凭れ支持部 2 をベース部 1 に固定できる。また、フック部と連動する取っ手 4 3 1 の操作により、被係止部に対するフック部の係止が解除されることで、ベース部 1 及び背凭れ支持部 2 の固定を解除できる。

【0055】

また、図 5 D のように螺合部 4 4 を用いる場合、螺合部 4 4 での螺合により、背凭れ支持部 2 をベース部 1 に固定できる。また、螺合部 4 4 での螺合を解除することで、ベース部 1 及び背凭れ支持部 2 の固定を解除できる。

【0056】

次に、マッサージ機 1 0 0 は、施療子 5 をさらに備える。施療子 5 は、背凭れ部 1 0 2 のたとえば背凭れ支持部 2 に配置されて、被施療者 U を施療する。施療子 5 は、下側支持部 2 0 1 に配置される下側施療子 5 1 と、上側支持部 2 0 2 に配置される上側施療子 5 2 と、サイド支持部 2 3 に配置されるサイド施療子 5 3 と、を有する。但し、この例示に限定されず、これらのうちの多くとも 2 つは省略されてもよい。つまり、施療子 5 は、下側支持部 2 0 1、上側支持部 2 0 2、及び、サイド支持部 2 3 のうちの少なくともいずれかに配置されていればよい。

【0057】

施療子 5 は、ベース部 1 に対して背凭れ支持部 2 が固定されることにより、駆動部 1 0 7 と接続される。たとえば、本実施形態では、施療子 5 はエアバッグであり、駆動部 1 0 7 はエアポンプを含む。ベース部 1 に対して背凭れ支持部 2 が固定される際、エアバッグの吸気口に繋がるパイプの継手と、エアポンプの排気口に繋がる継手との一方に他方が嵌ることで、この嵌め合いと連動して、両者が通気可能に接続される。同様に、施療子 5 がエアバッグ以外であって、電力又は機械的動力の供給により動作する構成要素であっても、施療子 5 の被供給側の部分と、駆動部 1 0 7 の供給側の部分とが適切に組み合わせることにより、施療子 5 は動作可能に駆動部 1 0 7 と接続される。一方、施療子 5 と駆動部 1 0 7 との接続は、ベース部 1 から背凭れ支持部 2 が取り外されることにより、連動的に解除される。

【0058】

このように構成すれば、ベース部 1 に対する背凭れ支持部 2 の固定と同時に、施療子 5 を駆動部 1 0 7 に接続できる。施療子 5 及び駆動部 1 0 7 の接続をベース部 1 に対する背凭れ支持部 2 の装脱着とは別作業で行う必要が無いので、施療子 5 付きの背凭れ支持部 2 の交換を容易に実施できる。

【0059】

また、好ましくは、背凭れ支持部 2 は、孔部 2 5 を有する。詳細には、施療子 5 が配置された下側支持部 2 0 1、上側支持部 2 0 2、及び、サイド支持部 2 3 のうちの少なくともいずれかは、施療子 5 の少なくとも一部を収容する孔部 2 5 を有する。本実施形態では、孔部 2 5 は、下側孔部 2 5 1 と、上側孔部 2 5 2 と、サイド孔部 2 5 3 と、を有する。こうすれば、施療子 5 の背凭れ支持部 2 の表面からはみ出る部分を少なくできるので、背凭れ支持部 2 の表面における必要以上の凸凹を少なくできる。従って、被施療者 U の凭れ

心地、及び背凭れ支持部 2 の美観を向上できる。

【0060】

たとえば、孔部 25 は、背凭れ支持部 2 の表面から凹む凹部である。下側孔部 251 は、下側支持部 201 に配置され、その前面から後方に凹む。下側孔部 251 には、下側施療子 51 が配置される。上側孔部 252 は、上側支持部 202 に配置され、その前面から後方に凹む。上側孔部 252 には、上側施療子 52 が配置される。本実施形態では、下側孔部 251 及び上側孔部 252 は、施療ユニット 103 よりも左側及び右側に配置される。サイド孔部 253 は、各サイド支持部 23 に配置され、左右方向において被施療者 U の表面からその反対側に凹む。サイド孔部 253 には、サイド施療子 53 が配置される。

【0061】

或いは、図 3 に示すように、孔部 25 は、貫通孔であってもよい。たとえば、施療子 5 が下側施療子 51 と上側施療子 52 との少なくともどちらかを含む場合を考える。なお、下側施療子 51 は下側支持部 201 に配置され、上側施療子 52 は上側支持部 202 に配置される。孔部 25 は、背凭れ支持部 2 を前後方向に貫通する。下側孔部 251 は、下側支持部 201 を貫通する。上側孔部 252 は、上側支持部 202 を貫通する。

【0062】

この際、好ましくは、ベース部 1 は、孔部 25 に收容された上側施療子 52 及び下側施療子 51 の少なくともどちらかの後端部を收容するベース凹部 13 をさらに有する（図 3 参照）。たとえば、本実施形態では、ベース凹部 13 は、下側ベース凹部 131 と、上側ベース凹部 132 と、を有する。下側ベース凹部 131 は、ベース部 1 の下側の部分に配置され、その前面から後方に凹む。背凭れ支持部 2 がベース部 1 に固定される際、下側ベース凹部 131 は、下側支持部 201 を貫通する下側孔部 251 に連通し、下側施療子 51 の後部を收容可能である。上側ベース凹部 132 は、ベース部 1 の上側の部分に配置され、その前面から後方に凹む。背凭れ支持部 2 がベース部 1 に固定される際、上側ベース凹部 132 は、上側支持部 202 を貫通する上側孔部 252 に連通し、上側施療子 52 の後部を收容可能である。

【0063】

こうすれば、施療子 5 が厚くても、その後端部をベース凹部 13 に收容できる。従って、施療子 5 の背凭れ支持部 2 の表面からはみ出る部分を少なくできる。

【0064】

また、前述の如く、背凭れ支持部 2 は、副背凭れ支持部 2a と交換可能である。副背凭れ支持部 2a は、背凭れ支持部 2 に対して、たとえば、前側から見た外観、（反発性を含む）柔らかさ、長手方向における長さ、及び材料などのうちの少なくともいずれかが異なる。なお、外観は、後述のサイド支持部 23 の長手方向における位置、被施療者 U の腰部を支持する後述の下側支持部 201 の長手方向における位置及び前側への突出量、被施療者 U の背中との接触面の曲面形状などを含む。マッサージ機 100 では、背凭れ支持部 2 に代えて副背凭れ支持部 2a を連結部 4 によりベース部 1 に取り付け可能である。なお、上述のような副背凭れ支持部 2a の特性は、副背凭れ支持部 2a の購入者（たとえば被施療者 U）の好みに応じて任意な仕様でオーダーメイドできる。たとえば図 3 では、副背凭れ支持部 2a は、背凭れ支持部 2 よりも小柄な被施療者 U に適した仕様になっている。

【0065】

背凭れ支持部 2 を交換可能とするにより、被施療者 U のたとえば体格及び好みなどに応じて背凭れ支持部 2 を交換できる。従って、背凭れ支持部 2 を被施療者 U の好みにフィットさせることができる。従って、マッサージ機 100 の背凭れ部 102 に凭れる被施療者 U の着座時及び施療時の心地よさを向上できる。

【0066】

<発注システム 600>

次に、図 6 を参照して、マッサージ機 100 の発注システム 600 の構成を説明する。図 6 は、椅子式マッサージ機 100 の発注システム 600 の構成例を示す概略図である。

【0067】

図 6 に示すように、発注システム 600 は、発注者（顧客）側の入力装置 601 と、仕様決定装置 602 と、生産設備側の受注装置 603 と、を有する。入力装置 601、仕様決定装置 602、及び、受注装置 603 はそれぞれ、インターネットなどの通信ネットワーク NT に接続され、通信ネットワーク NT を介して互いに通信可能である。但し、この例示に限定されず、通信ネットワーク NT は、ローカルネットワークであってもよい。また、入力装置 601 及び受注装置 603 は、直接に通信可能でなくてもよい。

【0068】

入力装置 601 は、たとえば、顧客（被施療者 U など）が有する PC であり、マッサージ機 100 に関する発注情報を仕様決定装置 602 に送信できる。或いは、入力装置 601 は、マッサージ機 100（特に背凭れ支持部 2）の販売拠点に配置された情報端末であってもよい。なお、発注情報は、第 1 識別情報及び第 2 識別情報と紐付けられる。第 1 識別情報は、顧客を識別するための情報であり、顧客の氏名、住所、電話番号などを含む。第 2 識別情報は、顧客が有するマッサージ機 100 を識別するための情報であり、マッサージ機 100 の製品番号などを含む。

10

【0069】

仕様決定装置 602 は、たとえばサーバ装置であり、通信ネットワーク NT を介して入力装置 601 及び受注装置 603 と接続される。発注システム 600 の仕様決定装置 602 は、通信部 61 と、取得部 62 と、仕様決定部 63 と、を有する。通信部 61 は、通信ネットワーク NT を介して入力装置 601 及び受注装置 603 と通信可能である。

【0070】

20

取得部 62 は、顧客により入力される発注情報を通信部 61 により取得する。発注情報は、既製品を指定する指定情報と被施療者 U の体格を含む生体情報との少なくともどちらかを含む。つまり、指定情報は、予め用意されている複数種類の既製品（マッサージ機 100、背凭れ支持部 2）のうちから、顧客が購入する製品を指定するための情報である。生体情報は、顧客が購入する背凭れ支持部 2 をオーダーメイドするための情報である。また、取得部 62 は、顧客の第 1 識別情報と、マッサージ機 100 の第 2 識別情報と、をさらに取得する。

【0071】

発注システム 600 では、発注情報に基づいて背凭れ支持部 2 の仕様を決定して、椅子式マッサージ機 100 が製造される。こうすれば、顧客（たとえば被施療者 U）は、既製の背凭れ支持部 2 を指定して発注できる。或いは、顧客は、自身の生体情報（身長、座高、肩幅、各身体部位の筋肉量など）に基づいてカスタマイズされた背凭れ支持部 2 をオーダーメイドで発注できる。よって、被施療者 U 毎に体格に適した背凭れ部 102 を提供することができる。

30

【0072】

なお、発注システム 600 では、顧客は、マッサージ機 100 を発注できる。さらに、発注システム 600 では、発注情報により、背凭れ支持部 2 のみを発注可能にしている。こうすれば、顧客（たとえば被施療者 U）は、背凭れ支持部 2（つまり副背凭れ支持部 2a）のみを追加で発注できる。

【0073】

40

仕様決定部 63 は、発注情報に基づいて製品の仕様を決定し、決定した仕様を示す仕様情報を通信部 61 から生産設備の受注装置 603 に送信する。この際、仕様情報は、第 1 識別情報及び第 2 識別情報と紐づけられて送信される。

【0074】

また、発注システム 600 の仕様決定装置 602 は、記憶部 64 をさらに有する。記憶部 64 は、非一過性の記憶媒体である。記憶部 64 は、第 1 識別情報及び第 2 識別情報などに紐付けて、発注情報及び仕様情報などを記憶する。この際、取得部 62 はさらに、発注情報の受信した日時、仕様情報を送信した日時なども記憶してもよい。こうすれば、顧客（たとえば被施療者 U）の発注履歴を記憶できる。従って、顧客の販売管理がし易くなり、過去の発注履歴を考慮したカスタマイズを仕様情報に反映できる。また、顧客は、た

50

例えば自身に適した背凭れ支持部 2 が劣化などしても、カスタムメイドされた最適な背凭れ支持部 2 を再び発注し易くなる。

【 0 0 7 5 】

受注装置 6 0 3 は、マッサージ機 1 0 0（特に背凭れ支持部 2）の生産設備を有する事業所（製造所）に配置された情報端末である。受注装置 6 0 3 は、仕様決定装置 6 0 2 から仕様情報を受信する。

【 0 0 7 6 】

仕様情報が既製の仕様を示す場合、該当する既製品の背凭れ支持部 2 が顧客に発送される。一方、仕様情報がカスタムメイドを示す場合、仕様情報に応じた仕様の背凭れ支持部 2 が製造されて顧客に発送される。

【 0 0 7 7 】

＜仕様情報＞

背凭れ支持部 2 の仕様情報は、たとえば、パッド部 2 2 の柔らかさ、材料などのほか、下記の仕様を含む。

【 0 0 7 8 】

下側支持部 2 0 1 に関して、背凭れ支持部 2 の仕様は、各々の下側支持部 2 0 1 の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅を含む。こうすれば、腰部を支持する下側支持部 2 0 1 を被施療者 U の腰部の形状及びヒップラインなどに適した形状及びサイズにカスタマイズすることで、下側支持部 2 0 1 を被施療者 U の腰部にフィットさせることができる。従って、マッサージ機 1 0 0 の背凭れ部 1 0 2 に凭れる被施療者 U の着座時及び施療時の心地よさをさらに向上できる。

【 0 0 7 9 】

上側支持部 2 0 2 及びサイド支持部 2 3 に関して、背凭れ支持部 2 の仕様は、好ましくは、下記の少なくともいずれかを含む。

- ・各々の上側支持部 2 0 2 の前後方向、左右方向、及び長手方向の少なくともいずれかの幅
- ・長手方向において上側支持部 2 0 2 に対して一对のサイド支持部 2 3 が配置される相対位置
- ・各々のサイド支持部 2 3 の前後方向、左右方向、及び長手方向の少なくともいずれかの幅
- ・一对のサイド支持部 2 3 の左右方向における間隔

【 0 0 8 0 】

こうすれば、腰部よりも上方を支持する上側支持部 2 0 2 を被施療者 U の腰部よりも上方の体形（座高、肩幅、胴回り、脊柱部の形状など）に適した形状及びサイズにカスタマイズできる。また、サイド支持部 2 3 には、被施療者 U の肩部が接する。サイド支持部 2 3 の長手方向における位置、そのサイズ、左右方向における間隔などをカスタマイズすることで、サイド支持部 2 3 を被施療者 U の肩部にフィットさせることができる。従って、マッサージ機 1 0 0 の背凭れ部 1 0 2 に凭れる被施療者 U の着座時及び施療時の心地よさをさらに向上できる。

【 0 0 8 1 】

また、背凭れ支持部 2 が頭首受け部 2 4 を含む場合、頭首受け部 2 4 に関して、背凭れ支持部 2 の仕様は、好ましくは、下記の少なくともいずれかを含む。

- ・各々の頭首受け部 2 4 の長手方向における位置
- ・各々の頭首受け部 2 4 の前後方向、左右方向、及び長手方向の少なくともいずれかの幅
- ・各々の頭首受け部 2 4 の柔らかさ及び材料の少なくともどちらか

【 0 0 8 2 】

こうすれば、頭首受け部 2 4 を被施療者 U の頭部及び首部の位置及び形状などに適した形状及びサイズにカスタマイズできる。そのため、頭首受け部 2 4 を被施療者 U の頭部又は首部にフィットさせることができる。従って、マッサージ機 1 0 0 の背凭れ部 1 0 2 に凭れる被施療者 U の着座時及び施療時の心地よさをさらに向上できる。

10

20

30

40

50

【0083】

また、背凭れ支持部2は、頭首受け部24の前方に配置される枕部1021とともにカスタムメイドで発注可能であってもよい。この場合、仕様情報は、たとえば枕部1021の仕様をさらに含んでもよい。たとえば、枕部1021の仕様は、枕部1021の柔らかさ及び材料の少なくともどちらかを含む。詳細には、枕部1021の仕様は、枕部1021の緩衝材の種類、材料、形状、及び、枕部1021の表面の布地の種類などを含む。枕部1021のカスタムメイドにより、被施療者Uの枕部1021に対する凭れ心地の良さを向上できる。

【0084】

以上、本発明の実施形態について説明した。なお、上述の実施形態は例示であり、その各構成要素及び各処理の組み合わせに色々な変形が可能であり、本発明の範囲にあることは当業者に理解されるところである。

【0085】

<まとめ>

以上、上述の実施形態の椅子式マッサージ機は、
被施療者の臀部を支持する座部と、
前記被施療者の胴部を支持する背凭れ部と、
を有し、

前記背凭れ部は、

前記座部の後端部に接続されて、前記被施療者の臀部から頭部に向かう長手方向に延びるベース部と、

前記ベース部の前面に対して連結部を介して取り付けられて前記長手方向に延び、前記被施療者の胴部の背面と接する背凭れ支持部と、
を有し、

前記背凭れ支持部は、前記ベース部に対して装脱着可能である構成（第1の構成）とされる。

【0086】

上記第1の構成の椅子式マッサージ機は、前記連結部は、

前記背凭れ支持部を前記ベース部の縁部に係着させる線ファスナー部と、

前記背凭れ支持部を前記ベース部に係着させる面ファスナー部と、

前記ベース部及び前記背凭れ支持部を機械的に係止させる係止部と、

前記ベース部及び前記背凭れ支持部を螺合により連結する螺合部と、

のうちの少なくともいずれかにより形成される構成（第2の構成）とされてもよい。

【0087】

上記第1又は第2の構成の椅子式マッサージ機は、

前記背凭れ支持部に配置されて前記被施療者を施療する施療子と、

前記施療子を駆動する駆動部と、

をさらに備え、

前記背凭れ支持部は、

前記被施療者の腰部を支持する下側支持部と、

前記被施療者の胴部のうちの腰部よりも上側を支持する上側支持部と、

前記上側支持部の左右方向両端部にそれぞれ配置されて前方に突出するサイド支持部と、
を有し、

前記施療子は、

前記下側支持部、前記上側支持部、及び、前記サイド支持部のうちの少なくともいずれに配置され、

前記ベース部に対して前記背凭れ支持部が固定されることにより、前記駆動部と接続される構成（第3の構成）とされてもよい。

【0088】

上記第 3 の構成の椅子式マッサージ機は、

前記施療子が配置された前記下側支持部、前記上側支持部、及び、前記サイド支持部のうちの少なくともいずれかは、前記施療子の少なくとも一部を収容する孔部を有する構成（第 4 の構成）とされてもよい。

【0089】

上記第 4 の構成の椅子式マッサージ機は、

前記施療子は、

前記上側支持部に配置される上側施療子と、

前記下側支持部に配置される下側施療子と、

の少なくともどちらかを含み、

前記孔部は、前記背凭れ支持部を前後方向に貫通し、

前記ベース部は、前記孔部に収容された前記上側施療子及び前記下側施療子の少なくともどちらかの後端部を収容するベース凹部を有する構成（第 5 の構成）とされてもよい。

【0090】

上記第 1 ～第 5 のいずれかの構成の椅子式マッサージ機は、

前記座部の左右方向における両側に配置され、前記被施療者の前腕部を支持する一对の肘掛け部をさらに備え、

前記背凭れ部は、前記座部の後部において左右方向に延びる回転軸を中心にして回動可能であって、

前方に傾倒する前記ベース部の少なくとも一部は、左右方向における一对の前記肘掛け部の間に配置される構成（第 6 の構成）とされてもよい。

【0091】

上記第 1 ～第 6 のいずれかの構成の椅子式マッサージ機は、

前記背凭れ支持部に代えて副背凭れ支持部を前記連結部により前記ベース部に取り付け可能であり、

前記副背凭れ支持部は、前記背凭れ支持部に対して、前方から見た外観、柔らかさ、前記長手方向における長さ、及び材料のうちの少なくともいずれかが異なる構成（第 7 の構成）とされてもよい。

【0092】

また、上述の実施形態の椅子式マッサージ機の発注システムは、

被施療者の臀部を支持する座部と、前記被施療者の胸部を支持する背凭れ部と、を備え、前記背凭れ部は、前記座部の後端部に接続されて前記被施療者の臀部から頭部に向かう長手方向に延びるベース部と、前記ベース部の前面に連結部を介して取り付けられて前記長手方向に延びて前記被施療者の胸部の背面と接する背凭れ支持部と、を有し、前記背凭れ支持部は、前記ベース部に対して装脱着可能である椅子式マッサージ機の発注システムであって、

顧客により入力される発注情報を通信部により取得する取得部を備え、

前記発注情報は、既製品を指定する指定情報と、前記被施療者の体格を含む生体情報との少なくともどちらかを含み、

前記発注情報に基づいて前記背凭れ支持部の仕様を決定して前記椅子式マッサージ機が製造される構成（第 8 の構成）とされる。

【0093】

上記第 8 の構成の椅子式マッサージ機の発注システムは、

前記発注情報により、前記背凭れ支持部のみを発注可能にした構成（第 9 の構成）とされてもよい。

【0094】

上記第 8 又は第 9 の構成の椅子式マッサージ機の発注システムは、

記憶部をさらに備え、

前記取得部は、前記顧客の第 1 識別情報と、前記椅子式マッサージ機の第 2 識別情報と、をさらに取得し、

10

20

30

40

50

前記記憶部は、前記第 1 識別情報及び前記第 2 識別情報に紐付けて、前記発注情報を記憶する構成（第 10 の構成）とされてもよい。

【0095】

上記第 8 ～第 10 のいずれかの構成の椅子式マッサージ機の発注システムは、
前記背凭れ支持部は、

前記被施療者の胸部のうちの腰部よりも上方を支持する上側支持部と、

前記上側支持部の左右方向両端部にそれぞれ配置されて前方に突出する一対のサイド支持部と、
を有し、

前記背凭れ支持部の仕様は、

各々の前記上側支持部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅と、

前記長手方向において前記上側支持部に対して一対の前記サイド支持部が配置される相対位置と、

各々の前記サイド支持部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅と、

一対の前記サイド支持部の左右方向における間隔と、

の少なくともいずれかを含む構成（第 11 の構成）とされてもよい。

【0096】

上記第 8 ～第 11 のいずれかの構成の椅子式マッサージ機の発注システムは、

前記背凭れ支持部は、前記被施療者の腰部を支持する下側支持部を有し、

前記背凭れ支持部の仕様は、各々の前記下側支持部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅を含む構成（第 12 の構成）とされてもよい。

【0097】

上記第 8 ～第 12 のいずれかの構成の椅子式マッサージ機の発注システムは、

前記背凭れ支持部は、前記被施療者の頭部又は首を支持する頭首受け部を含み、

前記背凭れ支持部の仕様は、

各々の前記頭首受け部の前記長手方向における位置と、

各々の前記頭首受け部の前後方向、左右方向、及び前記長手方向の少なくともいずれかの幅と、

各々の前記頭首受け部の柔らかさ及び材料の少なくともどちらかと、

の少なくともいずれかを含む構成（第 13 の構成）とされてもよい。

【符号の説明】

【0098】

100 (椅子式) マッサージ機

101 座部

102 背凭れ部

1021 枕部

103 施療ユニット

1031 ガイドレール

104 立設部

105 肘掛け部

106 オットマン

107 駆動部

1 ベース部

11 縦フレーム部

12 横フレーム部

13 ベース凹部

131 下側ベース凹部

132 上側ベース凹部

10

20

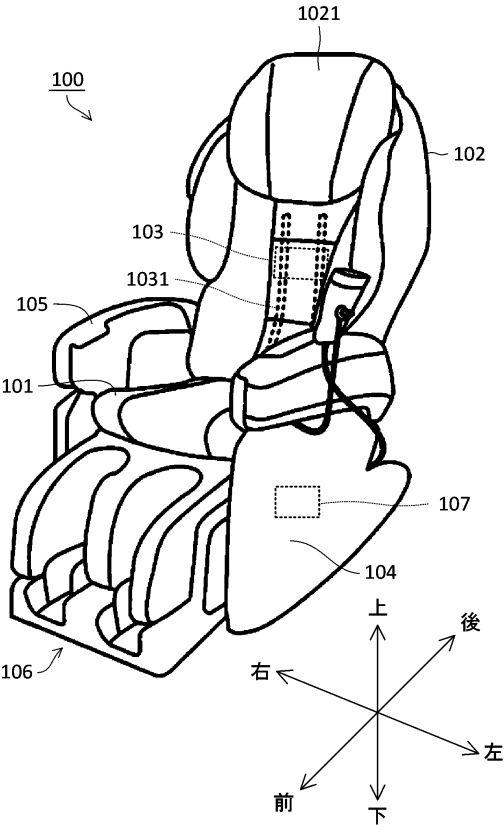
30

40

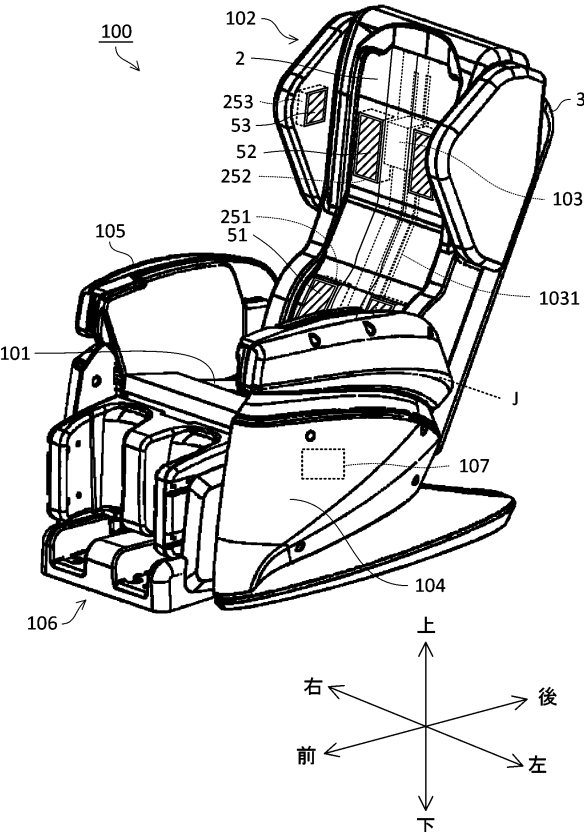
50

2	背凭れ支持部	
2 a	副背凭れ支持部	
2 0 1	下側支持部	
2 0 2	上側支持部	
2 1	支持部	
2 1 1	縦支持部	
2 1 2	横支持部	
2 1 2 1	凹部	
2 2	パッド部	
2 2 1	縦パッド部	10
2 2 2	横パッド部	
2 2 3	被覆部	
2 3	サイド支持部	
2 4	頭首受け部	
2 5	孔部	
2 5 1	下側孔部	
2 5 2	上側孔部	
2 5 3	サイド孔部	
3	バックカバー部	
4	連結部	20
4 1	線ファスナー部	
4 1 1	第1エレメント部	
4 1 2	第2エレメント部	
4 1 3	スライダー	
4 2	面ファスナー部	
4 2 1	面ループ部	
4 2 2	面フック部	
4 3	係止部	
4 3 1	取っ手	
4 4	螺合部	30
4 4 1	雌螺子部	
4 4 2	雄螺子部	
5	施療子	
5 1	下側施療子	
5 2	上側施療子	
5 3	サイド施療子	
6 0 0	発注システム	
6 0 1	入力装置	
6 0 2	仕様決定装置	
6 0 3	受注装置	40
6 1	通信部	
6 2	取得部	
6 3	仕様決定部	
6 4	記憶部	
U	被施療者	
J	回転軸	
N T	通信ネットワーク	

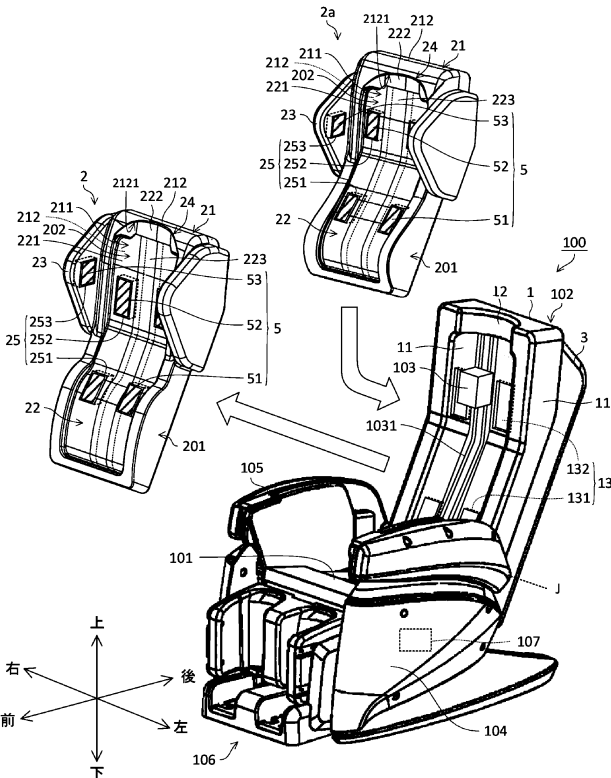
【図面】
【図 1】



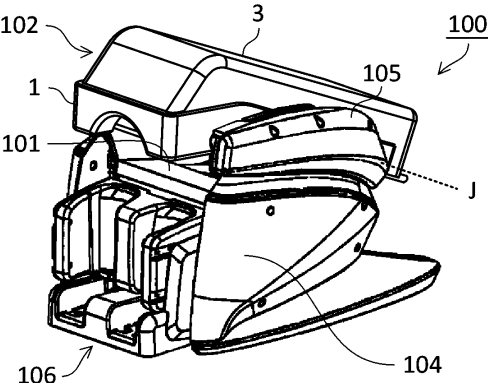
【図 2】



【図 3】



【図 4】



10

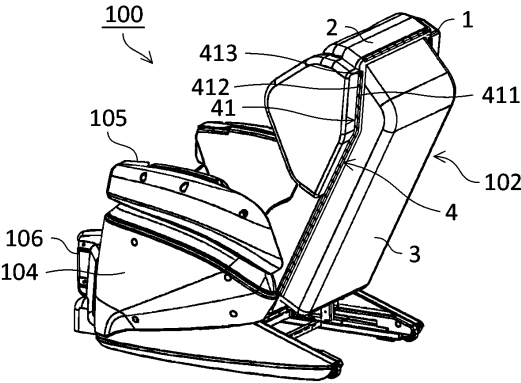
20

30

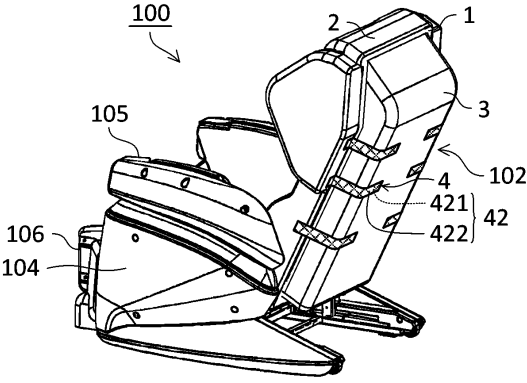
40

50

【図 5 A】

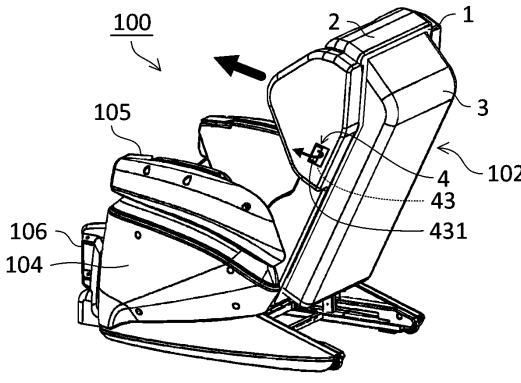


【図 5 B】

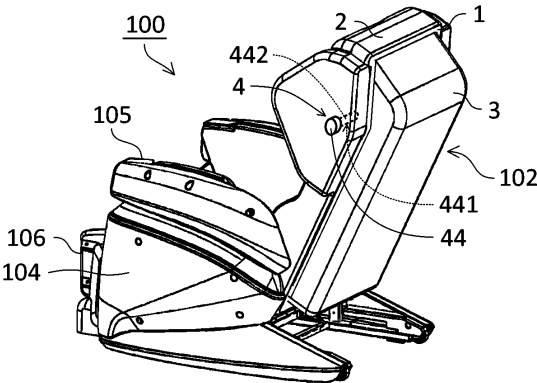


10

【図 5 C】

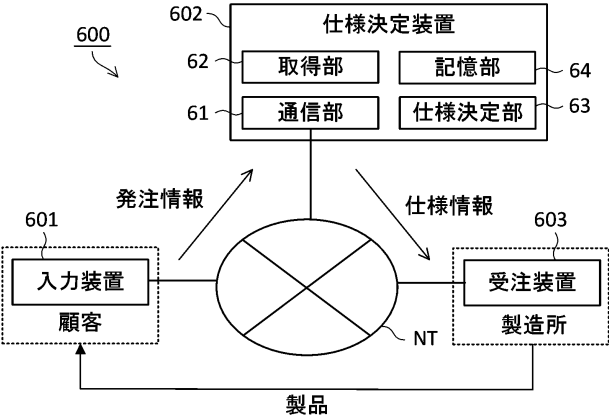


【図 5 D】



20

【図 6】



30

40

50